

# 深イ～話！

No.154

「嫌なことがスーッと消える ほとけさまの話」(松島龍戒 著)より  
——その悪口はあなたのものになる——

お釈迦様のご一行が、<sup>ちくりんしょうじや</sup>竹林精舎に滞在していたときのこと。

この地域で多くの信者を抱えているバラモンの地位にあったアッコーサカは、自分の信者が、次々にお釈迦様の教団に宗旨替えしていくのを、とても腹立たしく思っていました。

ゴータマよ。よくも私の教団の信者を横取りしたな！

私の兄夫婦までうまく丸め込んで、自分の信者にするなどとんでもないと、怒鳴り込んだのです。アッコーサカは、お釈迦様の前に立ちはだかって、罵詈雑言ひどい言葉を投げかけました。弟子たちはくやしい気持ちで、「あんなひどいことを言わせておいていいのですか？」とお釈迦様にたずねました。



そして、黙って最後まで聞いていたお釈迦様は、アッコーサカに、「あなたはお客様に、食事のおもてなしをすることができますか」「もちろん、あるとも」「ではもし、お客様がその食事に手をつけなかったら、その食事は誰のものになりましょうか」「食べてもらえなければ、それは私のものとなるほかはないだろう」と答えました。

「それでは私は、今日あなたが並び立てた数々の悪口をいただかないことにしましょう。そうすれば、その悪口はあなたのものになるほかないですね。怒りにまかせて私が言い返してしまったら、それはあなたと食事をともにすることと同じです」

\*\*\*\*\*

我々は人から、いわれのない非難を受けたり、理不尽な悪口を言われたりすると、たいてい反論してしまいます。たとえ相手を打ち負かしたところで、相手は心の底から納得はしないし、逆にそれを根に持ったりするものです。

**批判や非難、悪口雑言は受け取らないこと。こちらが受け取らなければ、相手のものになる。**  
やり返せば、悪口を言う嫌な相手と一緒に食事をするようになってしまいます。

ここで、松田聖子ちゃんを思い出しました。(大ファンなんです)  
聖子ちゃんは昔、めちゃくちゃバッシングされたのですが、一言も反論したのを見たことがありません。芸能界という厳しい世界で生き残れたのは、歌が上手いのはもちろんですが、決して言い返さなかった強さ、悪口を受け取らない賢さがあったからなんだと、ますます好きになりました。